

トヨタ純正

ドアエッジプロテクター

取付要領書

このたびはトヨタ純正ドアエッジプロテクターをお買い上げいただきありがとうございます。

本書はトヨタ車にドアエッジプロテクターを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

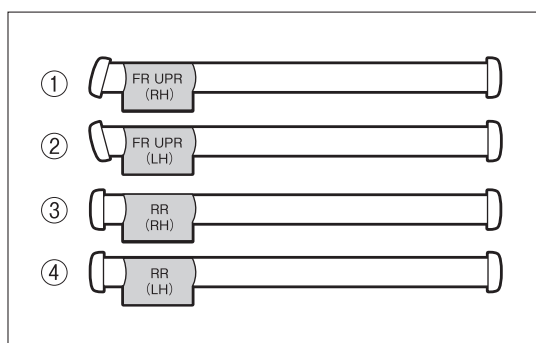
※本製品とサイドプロテクションやウインドモールなどのドア周辺製品を同時装着される際は、製品によって取り付け順を指示する場合がありますので、同時装着するドア周辺製品の取付要領書をご確認の上、本製品を取り付け願います。

※車種別の取り付け位置に関しましては、「車種別取付概要」をご確認ください。

品 番

08174-42050

構成部品



No.	品 名	品 番	個数
①	フロントドアエッジプロテクター (RH)	08174-42051	1
②	フロントドアエッジプロテクター (LH)	08174-42052	1
③	リヤドアエッジプロテクター (RH)	08174-42053	1
④	リヤドアエッジプロテクター (LH)	08174-42054	1

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りしていただきたいことを次のマークで表示しています

⚠ 注意…………… 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷する恐れがあります

1. 取り付け作業時には、車両に傷をつけないよう注意して作業してください。
2. 取り付けは、必ずほこりのたたない室内で行ってください。また、気温が15℃以下での作業は、両面テープの粘着力が低下し脱落、剥がれの原因になりますので、作業をする際は取り付け面と両面テープ面をドライヤーで温めてから接着作業を行ってください。
3. 取り付け面に油脂分や汚れが付いていますと脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等で十分に拭き取り脱脂してください。
4. 製品を一度貼り付けてから剥がしますと、粘着力が低下しますので圧着後は剥がさないでください。
5. 取り付け後、20分以内は雨、水等で濡らしたり、洗車しないでください。
6. 脱脂剤等を使用する際は、火気に充分注意してください。

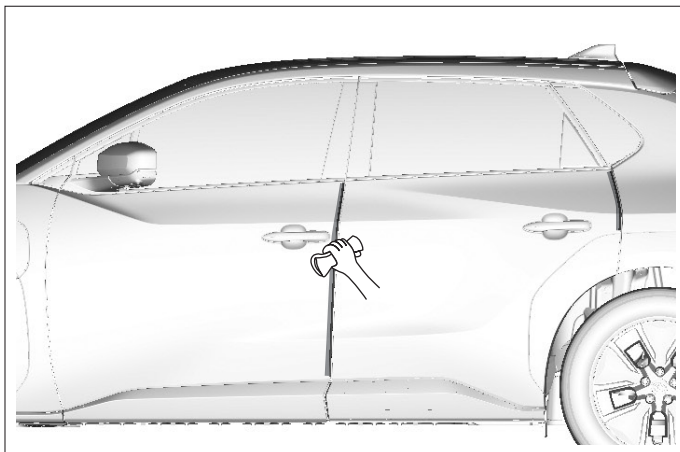
トヨタ自動車株式会社

取り付けに必要な工具等

脱脂剤等、きれいな布、ドライヤー等、スケール

取り付け要領

(以下の作業は LH 側です。RH 側も同じ要領で取り付けてください。)

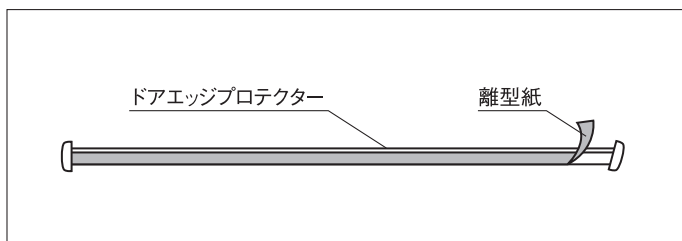


1. 取り付け前の準備

- (1) ボデー側の取り付け面の油脂分・汚れを、脱脂剤等を含ませたきれいな布で充分に拭き取る。

⚠ 注意

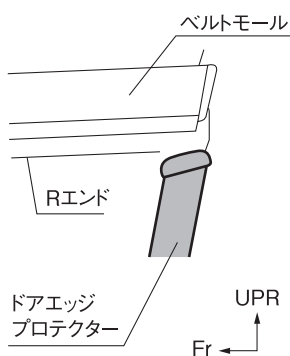
ドアエッジプロテクターは、フロント・リヤ専用の長さになっていますので、間違えないように作業してください。



2. フロントドアへの取り付け

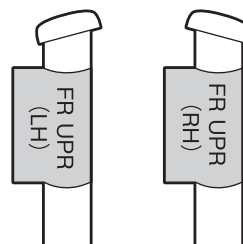
- (1) フロントドア用のドアエッジプロテクターの上端の離型紙を50mm程度剥がす。
- (2) 別紙「車種別取付概要」を確認し、取り付け位置上端の位置を合わせ歪みの無いように注意して貼る。

LHフロントドア取り付け位置上端部

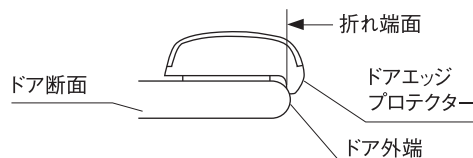


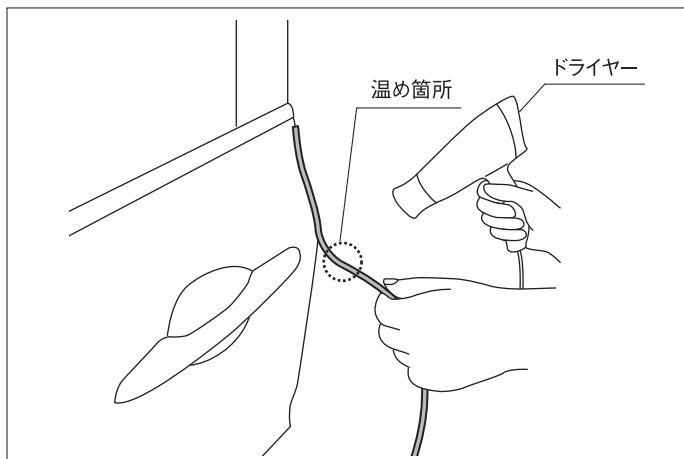
⚠ 注意

識別ラベルが上端になりますので間違えないように取り付けてください。



ドアエッジプロテクターを貼り付ける際は、折れ端面をドア外端部にスキの無い様にあてがってください。





《温め目安時間》

	室温が15℃ 以下の場合	室温が15℃ より高い場合
ドライヤー	約40秒	約20秒
ヒートガン	約20秒	約10秒

〈ボデーの屈曲が厳しい箇所への貼り付けがある場合〉

別紙「車種別取付概要」を確認し、下記作業を実施してください。

※概要にボデーの屈曲が厳しい箇所の明記がない場合は(5)の作業に進んでください。

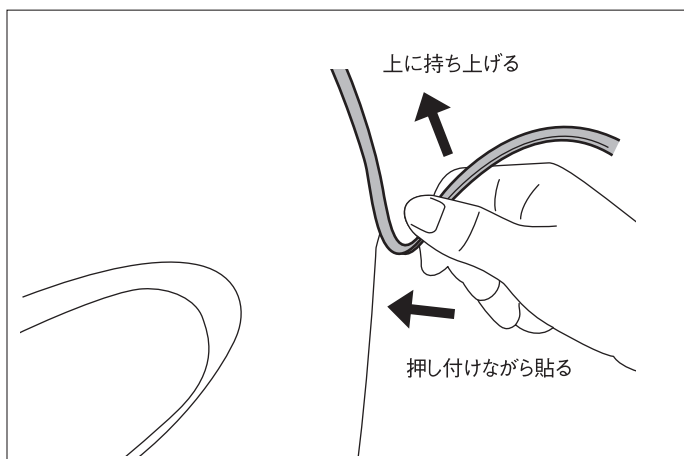
(3) ボデーの屈曲が厳しい箇所へ貼り付ける前にドアエッジプロテクターを温める。

※ドライヤー、ヒートガンはドアエッジプロテクターから15cm～20cmほど離して温めてください。

⚠ 注意

- ・ボデーも温めるよう風をあててください。
- ・目安時間より温めすぎないでください。
(温めすぎると塗装面に悪影響を及ぼす恐れがあります。)
- ・屈曲部が複数ある場合は、それぞれ実施してください。

〈正しい貼り付け方〉

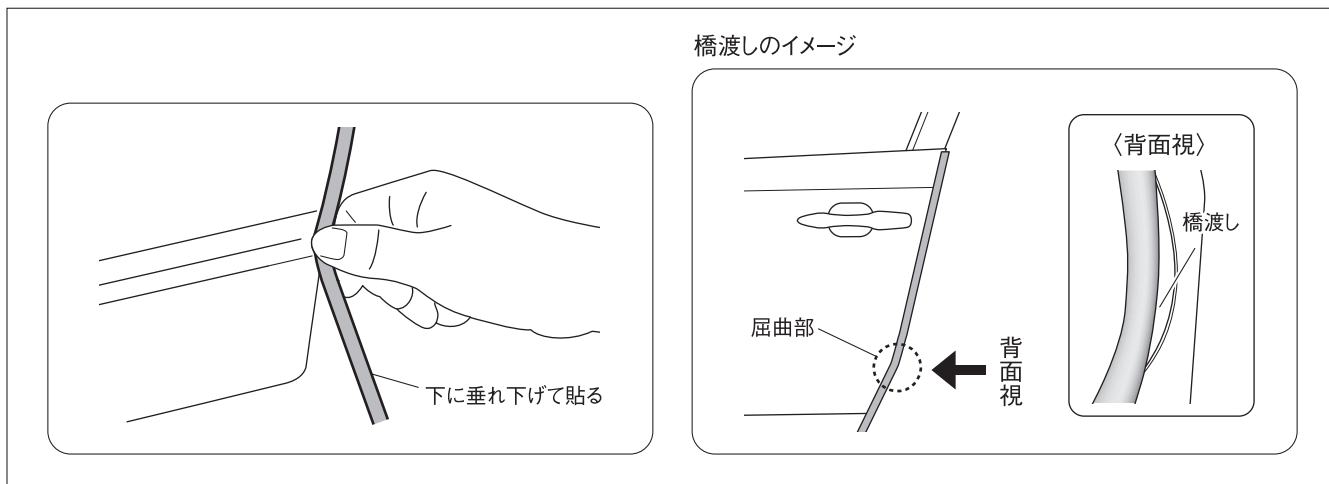


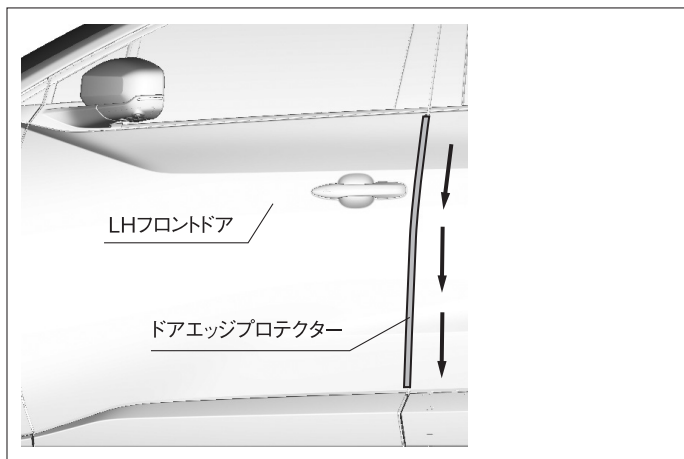
(4) ボデーの屈曲が厳しい箇所は、ドアエッジプロテクターが軟らかい状態で左図のようにドアエッジプロテクター下部を上を持ち上げ、ボデーに追従させるように押し付けながら貼り付けていく。

⚠ 注意

- ・ドアエッジプロテクターを下に垂れ下げて貼り付けると下図のように橋渡しとなり、剥がれの原因となります。
- ・ドアエッジプロテクターを引っ張りながら貼り付けしないでください。引っ張りながら貼り付けた場合、伸びてボデーからはみ出す恐れがあります。

〈誤った貼り付け方〉





- (5) ドアエッジプロテクター折れ端面をドア外端部にスキの無い様にあてがい、離型紙を剥がしながら歪みの無い様に下方向に向かって貼り付けていく。

⚠ 注意

環境温度 15℃以下で作業する際はボデー取り付け面をドライヤー等で温めてから作業してください。

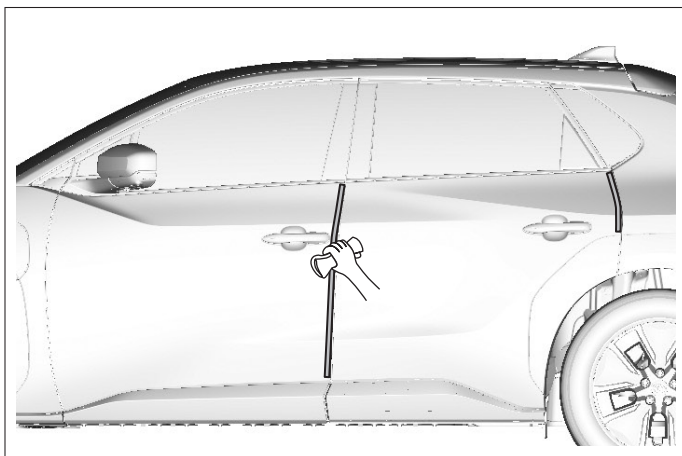
車両サイドプロテクションモールがある場合は、別紙「車種別取付概要」を確認してください。

- (6) 反対側のドアも同じ要領で貼る。

3. リヤドアへの取り付け

「車種別取付概要」を参照し、フロントドア同様の手順で取り付けを行う。

最終確認



- (1) 全て貼り終わったら、再度ドアエッジプロテクター面を強く圧着してください。(圧着：49N (5kgf))

⚠ 注意

圧着する際、ドアエッジプロテクター表面を侵す恐れがありますのでシンナーなどの溶剤の付いたものでこすらないでください。

取り付け完了後の点検

⚠ 注意

ドアエッジプロテクターに、浮き・剥がれがなく確実に取り付けられているか確認してください。